

きゅうしょくつうしん

3月17日(火)



- とり南蛮うどん
- はりはりサラダ
- おはぎ
- 牛乳

悪いことから身を守る おはぎ

3月20日は、春分の日です。この日を挟んで前後7日間をお彼岸といひます。

お彼岸には、ご先祖様におはぎをお供えして、元気に暮らしていることを伝え感謝をします。

おはぎは、ご先祖様にお供えしたあと、みんなで一緒に食べます。ご先祖様と同じ物を食べることで、先祖や家族との命のつながりを感じることができます。給食室でもおはぎを作りました。家族だけでなく、たくさんの人に見守られて、大きくなっていることも忘れずに、たべてほしいと思います。

今日もよく噛んで味わっていただきましょう。

担任用豆知識

「おはぎ」と「ぼたもち」

秋は「萩」の花に似ているので「おはぎ」

春は「牡丹」の花に似ているので「ぼた（ん）もち」と呼ばれるようになりました。

粒あんとしあん

秋は収穫したての柔らかい小豆を使うので粒あん。春は乾燥して皮が固くなるのでこしあんにして使いました。小豆の赤色には悪いことから守ってくれる力があると信じられています。



きなこ・・・おはぎ
あんこ・・・ぼたもち

つぶあん・・・おはぎ
こしあん・・・ぼたもち